

広報誌

うえるふえあ

56号

2012.8.1

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町 191 番地 TEL (0993) 72-0055

第9回
慈生会学会
を開催しました

6月28日、9回目となる慈生会学会が開催されました。慈生会学会は、法人職員が業務において努力工夫したことや、研究成果を発表する場です。今回は、6題の発表がありどれも素晴らしい内容でした。発表内容を参考に、更なる質の向上、サービス向上を図っていききたいと思います。



発表演題

- ①南薩地域における精神障害者地域移行支援特別事業の取り組みから見てきたもの
栄村孝子（地域活動支援センターうえるふえあ）
- ②アルコール依存症の方との関わりを通して学んだこと
上木原まゆみ（訪問看護ステーションまくらぎき）
- ③食事嗜好調査を終えて
吉富めぐみ（レストラン課）
- ④当院におけるグループ回想法の取り組みについて
大園雪子（臨床心理室）
- ⑤長期入院患者の退院支援活動を通して
板敷珠美（看護部みどり病棟）
- ⑥統合失調症患者における退院支援 ～金銭管理を導入した援助～
新留ひとみ（看護部めぐみ病棟）



経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

第19回コスモス会のご報告



5月26日(土)に「認知症の方への薬物療法と対応の仕方について」というテーマで第19回コスモス会を開催しました。

今回は第一三共株式会社田中直哉先生に講演をして頂きました。内容としては認知症を知る(認知症の原因と症状、種類など)、認知症かな?と思ったらためらわず早めに医師に相談することの大切さ、認知症の治療(薬物療法を含めて)、認知症の方への対応の仕方など幅広い内容でした。講演を聞いたご家族からも積極的な

意見や質問が聞かれ、有意義な時間となりました。講演後の座談会では、日頃の介護で困ったことやご家族の思いなど活発な意見交換がなされ、「同じ思いをしているのは自分だけではない」「来てよかった」という感想を頂くことができました。日々の生活の中で介護をするということはお家族の方にとっても大変な負担となることと思います。1人で抱え込まず、また悩みや思いをみんなで共有し、支え合うことが出来ればと思います。困ったことがあれば、遠慮なく当院職員へ声をおかけ下さい。参加していただきましたご家族の皆様、ありがとうございました。まだ参加されなかったことのないご家族の方も、ぜひ一度家族会へ足を運ばれてみて下さい。職員一同お待ちしております。

作業療法室より Vol.5

作業療法課 栗野里江子

みなさんお疲れ様です。今回は手工芸についてご紹介します。

主に季節に応じたものを作ることが多く、完成したものを病棟みんなで眺められるようにしています。紙を切ったり、丸めたり、貼ったりといろいろな作業を行います。作る過程では「これで何ができるの?」とやや不安げな質問も聞かれますが、作品が完成すると「いいのができたね〜」「だら、みごっかー(きれいだね)」との嬉しい声を聞くことができます。写真は最近作成した作品です。全部みなさんの力作です。病棟で何気なく見ている方も少し足を止めて眺めて下さいね。



投稿作品コーナー

童話 [倅せのしずく] ペンネーム 桜心

昔、むかしある小さな田舎町でやさしかったお父さんをなくした犬の源太は淋しさを忘れる為に仕事もせず毎日毎日酒を飲んでいました。

その日もお母さんと大ケンカをして家を飛び出しました。

行くあてもなく森の木陰で休んでいました。ところがいきなり黒い雲が流れて来て雨が降り出しました。

雨は源太の背中に落ちてきました。すると雨と一緒に「倅せのしずく」が舞い降りて来て源太のシッポに宿りました。

その倅せのしずくは、源太に微笑し、こう呟きました。

「源太、この倅せはあなたのものよ、しっかり胸に抱きしめて過去を忘れるの・・失恋したこと、挫折したこと、酒に逃げたこと、たくさんの不幸を・・・」

源太は聴いてる内に頭の中が真っ白になり続けざまにシッポを振りました。

「思いっきり倅せになるのよ・・・」

それからです、どうした事でしょう源太はお酒を止め、体いっばいに倅せを感じ、母さんとも仲良く暮らし始めました。

倅せのしずくは源太の心の扉をノックしたのでした。そして源太はとても心のお洒落な犬になりました。

源太は毎日毎日ポッケに倅せを詰めて町中の不幸な動物たちに希望という倅せをプレゼントして行きました。とても優しい源太になりました。

ある日源太は教会の牧師さんに呼ばれてました。そしてこう言われました。

「源太、よくここまで立ち直ったね。」

源太は夢中で言いました「僕は倅せのしずくに魔法をかけられました。」

「源太、良く聞くんた、倅せのしずくはね、天国にいるお父さんが源太を見て悲しんで落とした涙だ。みんなは知っていたんだ。源太が誰よりも心の優しい犬である事を・・・。」

源太は町のみんなから支えられている事に気付いて心から感謝しました。

いつのまにか倅せのしずくは虹の彼方へ風のように消えて行きました。

源太は西陽に向かって、お父さんを思い「ワンワン」と吠えました。



テーマ：『地元自慢』

回想の窓

心理室

Aさん：「私の地元は、ここ（地図を指さす）。坊津町秋目。眺めがとてもよくて」「映画のロケ地にもなったのよ」

スタッフ：「映画ですか、すごいですね。どんな映画ですか？」

Aさん：「007」

一同：「えっ〜！！」

Aさん：「浜美枝と丹波哲郎が来たのよ」「今でも時々ロケ地を尋ねてくる人がいるのよ。それぐらい、海が綺麗でいいところ」

*話題に登場した映画は『007は2度死ぬ』で1967年に公開されました。当時としては大掛りなロケ撮影が日本各地の観光名所で行われ、当時日本でも高まっていたボンド人気はさらに高まったと言われていています。霧島新燃岳もロケ地になっているようです。（坊津町秋目にある祈念碑）



4 月 お花見弁当

効アレルギー作用と肝臓の働きを正常にする作用があるとされる、薬膳食品を使用したお花見弁当

行事食

5 月
節句の寿司膳
滋養強壯を目的とした薬膳料理です。

レストラン課

6 月
牛ヒレステーキランチ
効ストレスや疲労などに効果的な薬膳料理です。



【薬膳一言】

※山査子⇒胃腸が弱い方に！自然の整腸薬として

サンザシはバラ科の落葉低木。秋の実る黄～赤色の果実を乾燥させたもので消化酵素であるアミラーゼ（炭酸化物の消化酵素）やプロテアーゼ（タンパク質の消化酵素）を成分として含んでいるため健胃、整腸、消化不良に効果があるといわれています。烏龍茶などとブレンドすれば、ほのかに甘酸っぱい味が楽しめます。また、魚を煮るときに使うと骨がやわらかくなるため、小魚の甘露煮などにも使われます。

※食品効能についての参考資料（薬用食品学改訂第5版/5訂日本食品成分表）

委員会紹介 行動制限最小化委員会

行動制限最小化委員会は、平成 16 年度診療報酬改定により、「医療保護入院等診療料」が新設され、施設基準として、当院では 6 月 1 日に当委員会を設置しました。委員会は、精神保健指定医を委員長として看護師・精神保健福祉士等を含む計 10 名で構成されており、月 1 回の委員会会議を開催しております。

行動制限最小化委員会の目的

（行動制限最小化委員会規定 第 2 条）

委員会は、医療保護入院等に係る患者様に対する行動制限を（医療及び保護に不可欠な限度にとどめ）可能な限り必要最低限とすることを目的とし、その具体案を検討、立案すると共に、その決定により対策を実施し、その実施状況に応じて調査、見直しを行う。

活動内容

（行動制限最小化委員会規定 第 8 条）

- ① 病棟から提出された行動制限レポートを検討し、疑義、改善事項を病棟看護管理者、病院長に報告する。
- ② 定期的に各病棟の行動制限状況を取りまとめ、病棟看護管理者、病院長に報告する。
- ③ 隔離・拘束が長期間に及んだ場合は、その妥当性を検討する。
- ④ 精神保健福祉法、隔離・拘束の早期解除、危機予防のための介入技術等についての研修会の企画を行い、年 2 回程度開催する。
- ⑤ その他、入院患者様の行動制限最小化のための活動を行う。

やむを得ず隔離・身体拘束等の行動制限を行った際は、頻回な観察を行い、二次的な問題の回避、人権に配慮した対応を心がけ、行動制限の最小化に努めるように推進しております。

実習生感想

当院の薬剤課と作業療法課で実習を行った実習生に感想をいただきました。



ウエルフェア九州病院で
実務実習を受けて

九州保健福祉大学
薬学部 5 年

柳田将吾

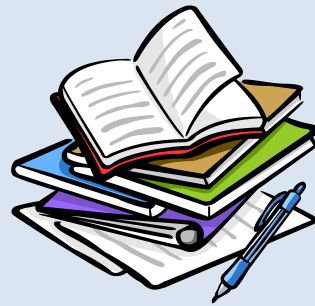
実務実習が始まるまで不安と期待でいっぱいでした。これまで大学で学んできたことを活かすことができるのかという不安と、同時に学んできたことが臨床の現場でどのように関わってくるのか興味があり、期待も湧いていました。

実習当日は、薬剤課の先生方が快く迎入れて下さって、一安心しましたが、不安と緊張のためか、あっという間に一日が終わったのを覚えています。

さて、実習内容についてですが、薬剤師業務と大学の課題に加えて、水流先生に課題を出して頂くというものです。まず、薬剤師業務は、処方箋鑑査、調剤、調剤薬鑑査など体験的に行わせて頂きました。またこちらでは、週 1 で回診が行われていて、いろいろな医療従事者が関わり、チーム医療の大切さを学ぶことが出来たと思います。次に、先生の課題ですが、業務で扱った医薬品についての問題であったり、症例の問題であったりしました。薬剤師であれば知っておかなければならない事を講義して下さいました。この水流先生の課題が非常に役立ちました。今まで大学で学んできた事と臨床の現場での業務とのつながりを理解することができました。また、大学の課題は、自分のやりたい事について調べるというものです。わたくしは、薬局で働きたいとっていて、病院でのリスクマネジメントとして、工夫されている事には、どのようなものがあるのか興味がありました。そこで、薬剤師業務をしているときに気づいた点やヒヤリハット事例をメモに留めていきました。これから、ヒヤリハットについては、統計的にまとめていくつもりです。また、リスクマネジメントについてこちらの施設が素晴らしいと感じたところがあります。どちらの施設でも、

ヒヤリハット報告を基に、医療スタッフ間で情報を共有していることと思いますが、その次の段階である教育・研修が、こちらでは非常に多く行われています。直接、リスクマネジメントに関わらないと思われる勉強会でも、事故防止に繋がってくると、わたくしは考えています。組織にしても個人にしてもリスクマネジメントをしっかりと捉えることが出来れば、医療過誤が起こる可能性を低下させ、患者さまにより良い医療を提供することができます。非常に貴重な経験をさせて頂いたと思っています。

時間が経つのは本当にはやく、病院での実務実習も残り僅かとなりました。今まで、はっきりとしなかった薬剤師像でしたが、実習を通して、理想の薬剤師というものがイメージできるようになりました。実務実習を受け入れて下さったウエルフェア九州病院とその関係者様には本当に感謝しています。こちらでの実習の経験を活かし、自分の理想とする薬剤師像に近づけるよう日々精進していきます。短い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。



鹿児島大学作業療法専攻 4 年 前田翔吾

6 週間という長期の実習はウエルフェア九州病院がはじめてで分からないことが多い中で実習でしたが、教科書では学ぶことのできないことをたくさん経験させてもらいました。今回はその苑を中心に実習を行いました。その中で、認知症の方とどういう風に関わっていけばよいかなどを学ぶことができました。この実習で学んだことを次の実習でもいかしていきたいと思っています。6 週間、いろいろな経験をさせていただきありがとうございました。

お知らせ

■精神科当番 8/5(日) 9/17(月) 9/30(日)
■内科当番 9/23(日)

8/14(火) 8/15(水) 外来休診となります。

御了承下さい。



第20回すずらん会のご案内

この度、第20回すずらん会(家族会)を下記の通り開催することとなりました。今回はビデオ鑑賞を通して、ご家族の皆様とコミュニケーション方法について考える会にしたいと思っております。ご多忙中のこととは思いますが、多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

記

目的 : ご家族の皆様と、病気や障がいについて共に学びあい、そして語り合う事

日時 : 平成24年9月8日(土) 午後1時30分~3時30分

(受付は午後1時開始)

場所 : ウェルフェア九州病院 第2・3会議室

内容 : 《ビデオ観賞》『回復力を高めるコミュニケーション方法のコツを学ぶ』

《座談会》日ごろ、ご家族の方々が患者様と接している中で感じていることや、分からないこと、困っていることをみんなで話し合う場です。

対象者 : 当院通院中・入院中の方のご家族様



お問い合わせ先 家族会実行委員会 TEL0993-72-0055

担当 : 白澤(外来) 岡村・大川・上野 (地域医療福祉連携課)

編集後記

ロンドンオリンピックが開会されました。水泳、体操、柔道などメダルが期待されています。応援で心も体も熱くなりそうですが、夏バテしないようこの夏を乗り切りましょう。(寿)



発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会

〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地

TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199

URL <http://www.wkh.or.jp/>

E-mail jiseikai@wkh.or.jp

ウェルフェアは

健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。